

American Audio®

Q-SPAND mkII

取扱説明書

by SRS (S)®



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、American Audio 社製の Q-Spand MK II ミキサーをお買い上げ頂き誠に有り難うございます。Q-Spand MK II の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

ご使用になる前に

必ず本取扱説明書にしたがって操作して下さい。

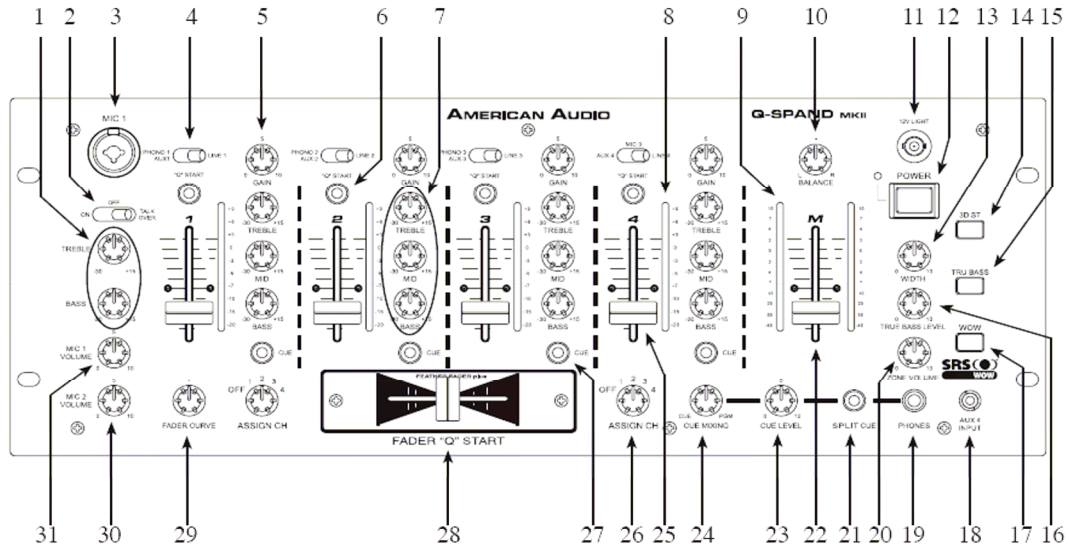
- 水には非常に弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用して下さい。屋外で使用した場合は保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 本製品を長期間使用しない場合は、本体電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
- 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所でご使用下さい。
- 本体との接続を行う際は、必ず電源ケーブルがコンセントから外れた状態で行って下さい。
- 本体のカバーが外れた状態で電源をオンにしないで下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様ご注意下さい。
- 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
- 故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡してください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

主な仕様

- Q スタートコントロール用 VCA フェーダー
- 調節可能なフェーダーカーブ
- 4 チャンネルミキサー
- 3Phono/4AUX、4 ライン、3 マイク入力
- マスターバランスコントロール
- 12V BNC ミキサーライト端子
- フェーダーQ スタート (チャンネル 1&2)
- Q スタートに対応
- 各チャンネルにゲインコントロールを搭載
- ロータリーキル機能
- トークオーバースイッチを搭載 (チャンネル出力ゲインを 14dB 減衰)
- ゾーンレベル出力端子
- スプリットキューモニタリング
- 高出力レベルのヘッドフォン出力
- バランス仕様の XLR 出力端子
- WOW プロセス
- 高ノイズレシオ
- LED レベルインジケーター
- キュー・ミキシング
- 4 種類の出力端子を搭載 (マスター×2、ゾーン、REC 出力端子)

機能と操作

トップパネル



1. マイク EQ セクション

- トレブル
マイク入力の高域を+12dB/ - 30dB の範囲で調節可能です。
- ベース
マイク入力の低域を+12dB/ - 30dB の範囲で調節可能です。

2. トークオーバーコントロール

マイク入力信号を除く全ての信号を 14dB 減衰します。

3. マイク 1 入力端子

XLR またはフォン仕様のマイクケーブルを使用し、マイクを接続することが可能です。マイク入力信号レベルはマイク入力ボリュームにより調節可能です。

ノート：良い音質を得るために出カインピーダンスが 500-600 のマイクを使用することをお勧めします。

4. 入力セレクトスイッチ

各チャンネルの入力ソースを選択します。

5. チャンネルゲイン

各チャンネルへの入力信号レベルを調節します。ゲインレベルを正しく設定することによりノイズレベルの低い信号を出力することが可能です。ゲインレベルの設定方法は以下を参照して下さい。

- 1) マスターボリュームコントロールを 8 に設定して下さい。
- 2) チャンネルフェーダーを 8 に設定して下さい。
- 3) チャンネルに接続された外部機器から信号を入力して下さい。
- 4) ゲインコントロールを調節し、平均出力レベルが+4dB になるようにゲインコントロールを設定して下さい。
- 5) 他のチャンネルを設定する際は、1)~4)を繰り返して下さい。

6. Q スタート・オン/オフスイッチ

Q スタートに対応した American Audio、又は American DJ の CD プレーヤーと連動して機能します。この機能は Q スタートに対応した CD プレーヤーの再生/停止をクロスフェーダーによって行うことが可能です。Q スタート・オン/オフスイッチは Q スタート機能のオン/オフを切替えます。Q スタート機能がオンの際にクロスフェーダーを左から右に動かすと、本体背面に搭載されたコントローラー端子に接続された CD プレーヤーを再生又はキューすることができます。

7. チャンネル EQ セクション

全てのチャンネルに 3 バンド EQ を搭載しています。EQ を調節することによりチャンネル信号の高域、中域、低域を別々に調節することが可能です。

- Treble (高域)
チャンネル信号の高域を+15dB/-30dB の範囲で調節可能です。
- Mid (中域)
チャンネル信号の中域を+15dB/-30dB の範囲で調節可能です。
- Bass (低域)
チャンネル信号の低域を+15dB/-30dB の範囲で調節可能です。

8. チャンネルボリュームレベルインジケータ

各チャンネルの入力レベルを LED インジケータに表示します。

9. マスターボリュームレベルインジケータ

マスター出力レベルを LED インジケータに表示します。

10. マスター出力バランスコントロール

マスター出力信号の定位をコントロールします。

11. BNC 端子

BNC 仕様の 12V ミキサーライトを接続します。

12. 電源スイッチ

ミキサー本体の電源オン/オフを切替えます。電源がオンの時電源スイッチの横に位置する青色 LED が点灯します。

13. WIDTH コントロール

出力信号が SRS 3D 処理される量を調節します。

14. 3D ST コントロール

SRS 3D ステレオ機能をオンに切替えます。SRS は入力信号から空間音響情報を取り出し、3D イメージを再現します。これによって出力される信号はライブパフォーマンスに非常に近く、またリスニングポジションも限定されません。

15. TRU BASS コントロール

SRS TRU BASS 機能をオンに切替えます。TRU BASS 回路は入力信号の低域成分をモニターし、周波数特性を最適化します。これによって予算やスペースの関係で得られなかった低音を再生することが可能になり、スピーカーシステムに深みのある低音を加えることができます。

16. TRU BASS レベル

出力信号が TRU BASS 処理される量を調節します。

17. WOW コントロール

WOW 機能をオンに切替えます。WOW は TRU BASS 機能と 3D ステレオ機能が組み合わされた機能です。この機能を使用するとステレオイメージやダイナミクスが劇的に改善されます。

18. AUX4 入力端子

MP3 プレーヤーなどの外部機器を接続します。

19. ヘッドフォン出力端子

ヘッドフォンを接続してモニターします。ヘッドフォンは 8 から 32 の製品を使用して下さい。

20. ゾーンレベルボリューム出力コントロール

ゾーンレベルボリュームを調節します。

21. スプリットキュー

スプリットキュー機能をオンに切替えます。スプリットキュー機能はヘッドフォン使用時にキュー信号を L チャンネルに、プログラム信号を R チャンネルにそれぞれ出力し、ヘッドフォンによるミックスを可能にします。

22. マスターボリューム

マスター出力レベルを調節します。

23. キューレベルコントロール

ヘッドフォン出力レベルを調節します。

24. キューミックスコントローラー

モニターするチャンネルを選択します。モニター信号はプリフェーダー信号の為、チャンネルフェーダーの影響を受けません。この機能によって各チャンネルを別々にモニターすることが可能です。

- 1) ヘッドフォンをヘッドフォン出力端子に接続して下さい。
- 2) キューする為にキューミキシングコントロールを調節して、チャンネルの PFL スイッチを選択して下さい。
- 3) キューミキシングコントロールを PGM に設定するとミキサーの出力信号をモニターすることが可能です。
- 4) キューミキシングコントロールを真ん中のポジションに設定するとチャンネル信号と出力信号両方をモニターすることが可能です。
- 5) キューレベルコントロールにより、出力信号を変えずにヘッドフォンレベルを調節することが可能です。

25. チャンネルフェーダー

外部機器が接続された各チャンネルの出力信号レベルを調節します。

26. フェーダーアサインスイッチ

クロスフェーダーにアサインするチャンネルを選択します。

27. キューボタン

チャンネルの“キューモード”をオンに切替えます。“キューモード”がオンの際、ボタン横の赤色 LED が点灯します。“キューモード”はチャンネルの入力信号をヘッドフォンに出力します。キューレベルはキューレベル調節ノブによって調節します。

28. Feather Fader Plus クロスフェーダー

チャンネル 1 とチャンネル 2 の出力信号を混ぜる為に使用します。フェーダーが一番左のポジションに位置している時チャンネル 1 の出力信号がマスターボリュームレベルによって設定されます。同様にフェーダーが一番右のポジションに位置している時チャンネル 2 の信号が出力されます。このフェーダーをスライドさせチャンネル 1 と 2 の出力を選択します。尚、フェーダーが真ん中に位置しているときチャンネル 1 と 2 の出力レベルは同じになります。

29. クロスフェーダーカーブ調節

クロスフェーダーのフェーダーカーブを調節します。

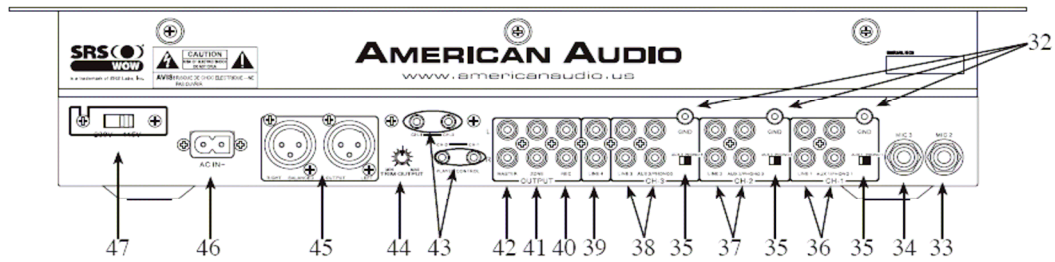
30. マイク 2 ボリュームコントロール

マイク入力 2 出力ボリュームをコントロールします。

31. マイク 1 ボリュームコントロール

マイク入力 1 出力ボリュームをコントロールします。

リアパネル



32. GND (アース)

ターンテーブルのアース線を接続して下さい。ターンテーブルのハムノイズやポップノイズを抑えます。

33. マイク入力 2 端子

フォン仕様のマイクケーブルを使用し、マイクを接続することが可能です。マイク入力信号レベルはマイク入力ボリュームにより調節可能です。

34. マイク入力 3 端子

フォン仕様のマイクケーブルを使用し、マイクを接続することが可能です。マイク入力信号レベルはチャンネル 4 フェーダーにより調節可能です。尚、マイクを接続する場合はソースセレクタースイッチを MIC3 に切替えて下さい。

35. チャンネルラインレベル選択スイッチ

各チャンネルの入力レベルを PHONO と AUX から選択します。この選択スイッチを切替える際には本体電源がオフに切り替わっていることを確認して下さい。

36. PHONO1 / AUX1 入力端子 (チャンネル 1)

DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器を接続します。またチャンネルラインレベル選択スイッチが AUX に設定されている時に CD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続することが可能です。

ライン入力端子 (チャンネル 1)

CD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。この際チャンネルラインレベル選択スイッチが LINE1 に設定されていることを確認して下さい。

37. PHONO2 / AUX2 入力端子 (チャンネル 2)

DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器を接続します。またチャンネルラインレベル選択スイッチが AUX に設定されている時に CD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続することが可能です。

ライン入力 2 端子 (チャンネル 2)

CD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。この際チャンネルラインレベル選択スイッチが LINE2 に設定されていることを確認して下さい。

38. PHONO3 / AUX3 入力端子 (チャンネル 3)

DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器を接続します。またチャンネルラインレベル選択スイッチが AUX に設定されている時に CD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続することが可能です。

ライン入力 3 端子 (チャンネル 3)

CD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。この際チャンネルラインレベル選択スイッチが LINE3 に設定されていることを確認して下さい。

39. RCA ライン入力端子 (チャンネル 4)

CD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。この際チャンネルラインレベル選択スイッチが LINE4 に設定されていることを確認して下さい。

40. REC 出力端子

CD レコーダーや MD レコーダー等の外部録音機器にアンバランス信号を出力します。REC 出力端子の出力レベルは各チャンネルフェーダーにより調節し、マスターボリュームコントロールの影響を受けません。

41. ZONE レベル出力端子

ゾーンボリュームノブによって設定された信号が RCA 端子より出力されます。ブースのモニター用や他のサウンドシステムに接続して使用します。

42. アンバランス仕様の RCA マスター出力端子

マスター・アンバランス信号が RCA 端子から出力されます。

43. プレーヤーコントロールチャンネル (チャンネル 1~4)

Q スタート機能に対応した CD プレーヤーを接続します。CD1 を A 端子に、CD2 を B 端子にそれぞれ接続して下さい。

44. TRIM 出力端子

0～9V の範囲で最大出力電圧を設定します。この昨日は最大出力レベルをリミットする際に使用します。

45. バランス仕様の XLR マスター出力端子

マスター・バランス信号が XLR 端子から出力されます。バランス仕様のアンプやその他オーディオ機器等を接続する場合や、外部オーディオ機器への接続ケーブルが長い場合等に XLR マスター出力端子を使用します。

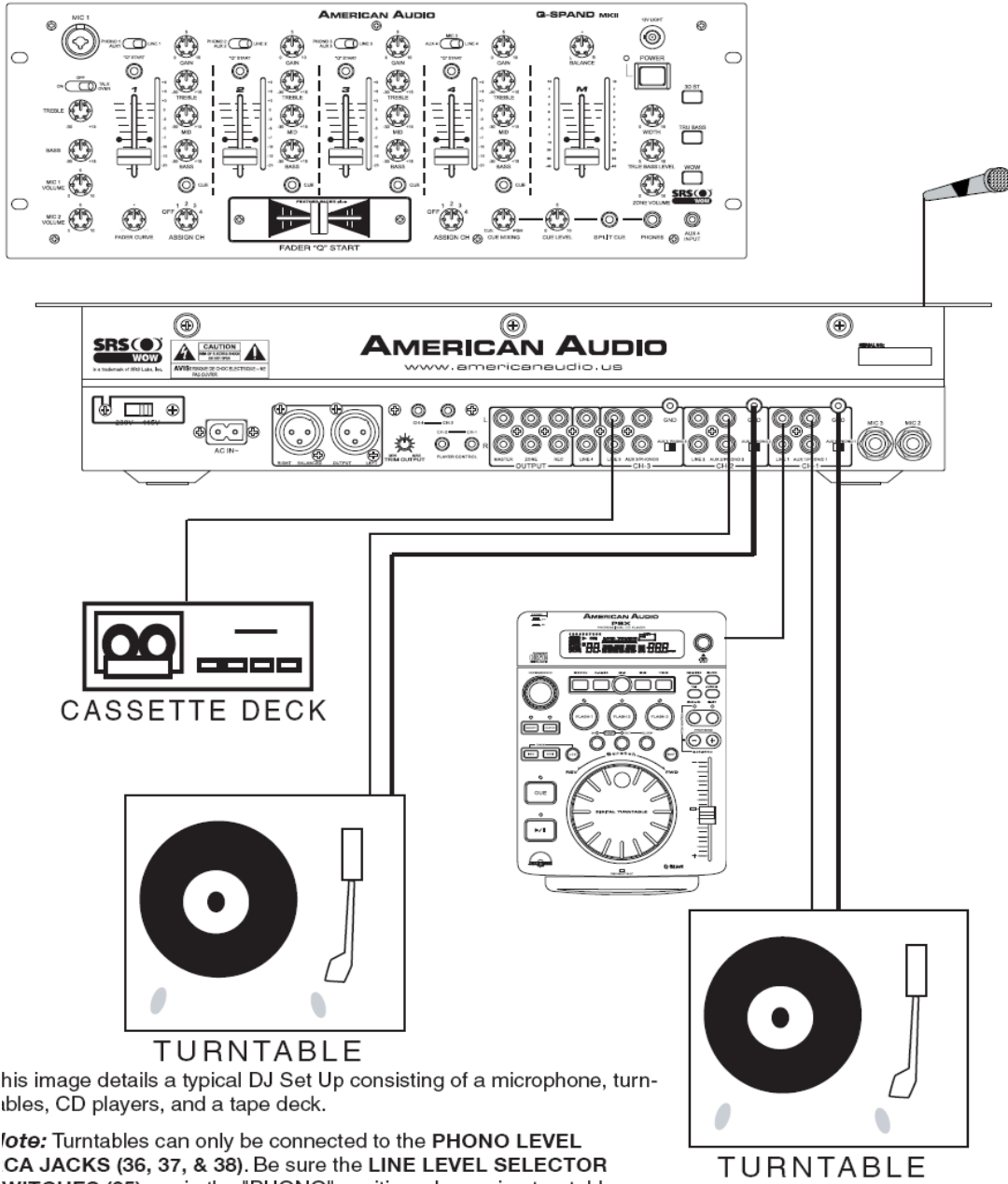
46. 電源入力端子

付属された電源ケーブルを接続して本体に電源を供給します。本製品に付属した電源ケーブルのみを使用して下さい。

47. AC 電圧セレクター

入力電圧を選択します。電圧を変更する際は必ず本体電源がオフに切り替わっていることを確認して下さい。

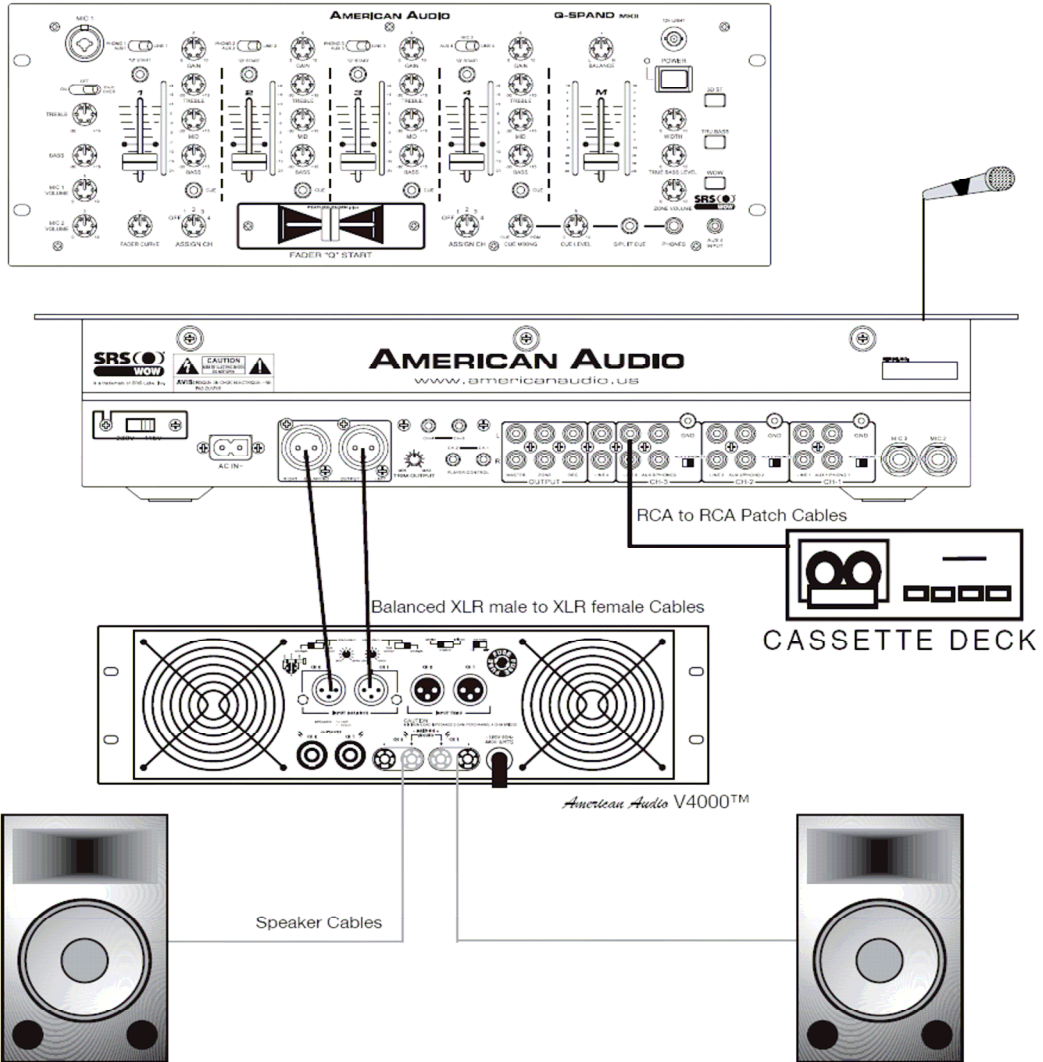
典型的な接続例 1



This image details a typical DJ Set Up consisting of a microphone, turntables, CD players, and a tape deck.

Note: Turntables can only be connected to the **PHONO LEVEL CA JACKS (36, 37, & 38)**. Be sure the **LINE LEVEL SELECTOR SWITCHES (36, 37, & 38)** are in the "PHONO" position when connecting turntables.

典型的な接続例 2



本体の清掃

本製品の性能を維持する為に、定期的に清掃を行うことをお勧めします。

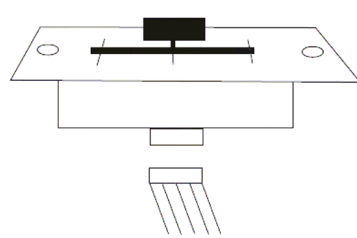
1. 市販のガラスクリーナーと柔らかい布を使用してボディを拭いて下さい。
2. 電子部品、スイッチ、又はノブの周り等には専用のスプレーを使用して下さい。
3. 30-60 日の間隔で本体の清掃を行って下さい。
4. 本製品を電源コンセントに接続する前に、全てのパーツが乾いているか確認して下さい。

クロスフェーダーの交換方法

Q-3433 MKII のクロスフェーダーは電源がオンの状態でも交換することが可能です。交換する際は American Audio の Feather Fader Plus のみを使用して下さい。他のモデルを装填しようとするとは本体を破損する恐れがありますのでやめて下さい。

クロスフェーダーの交換方法

1. 本体トップパネル上に取り付けられた、フェーダーノブを含める全てのノブを取り外して下さい。
2. プラスドライバーを使用してトッププレートを固定している 4 つのネジを外して下さい。
3. クロスフェーダーを固定しているネジを外して下さい。
4. クロスフェーダーを本体のトップパネルから取り外して下さい。
5. PC ボードのリボンケーブルをクロスフェーダーから外して下さい。
6. フェーダーをリボンケーブルに接続して下さい。
7. 本体のトップパネルを元に戻して下さい。



製品仕様

モデル :	American Audio Q-Spand MKII
使用電源 :	AC100V、50/60Hz
クロスフェーダー :	Feather Fader Plus
消費電力 :	12W (20W : ヘッドフォン出力最大時)
ヘッドフォンインピーダンス :	16
サイズ :	482.6(W) × 97(H) × 177mm(D)
重量 :	3.8kg



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。